

主題：聖書の中の極めて重要な命の啓示

メッセージ 10

命の種——王国の種

聖書：Ⅰペテロ 1:23. Ⅰヨハネ 3:9. マルコ 4:26-29. Ⅱペテロ 1:1, 4-11

- I. 命の種、神聖な種は、神聖な命の具体化であり、神聖な命に関するすべてのことを含んでいます——
Ⅰペテロ 1:23. Ⅰヨハネ 3:9. ヨハネ 12:24。
- II. 神の永遠のエコノミーの教え全体の内在的な要素は、人性の中にある三一の神、すなわち、栄光を得たイエスの霊としてのすばらしいキリストが、命の種、神の種として、神の選びの民の中にまかれることです。そして彼が、彼らの中で成長し、彼らの中で生活し、彼らの中で発展し、彼らの内側から表現されて、神の農場となり、召会を建造し、神の家と神の王国になることです——
マルコ 4:11-20, 26-29. マタイ 16:18. Ⅰコリント 3:9. Ⅰペテロ 1:23. 参照、申 22:9。
- III. 新約が啓示しているのは、三一の神が、肉体と成り、彼の選ばれた人々の中にまかれ、彼らの内側で発展して王国になるということです。これが新約の教え全体の内在的な要素です——ヨハネ 1:14. コロサイ 2:9. マルコ 4:26-29. 啓 11:15. 21:2 :
 - A. 神の王国は命の種としてのキリストご自身であり、わたしたちの中にまかれ、わたしたちの中で成長し、わたしたちの中で拡大し、わたしたちの中で円熟して、完全な収穫、すなわち王国の実現へと至ります——マルコ 4:26-29. マタイ 13:43 :
 1. これはマルコ第4章 26節から 29節にある種のたとえに啓示されています :
 - a. 26節の人は、種をまく方としての神の御子であり、彼は来て、彼の言葉の中にある（14節）命の種としてのご自身を、人々の心の中にまきました。それは、彼が彼らの中で成長し生きて、彼らの内側から表現されるためです。
 - b. 種は、主の信者たちの中にまかれた神聖な命の種です——Ⅰヨハネ 3:9. Ⅰペテロ 1:23.
 - c. 種を地上にまくことが示しているのは、神の王国（主の福音の結果また目標）、この時代の召会が（ローマ 14:17）、神の命の事柄であり、この命が発芽し、成長し、実を結び、円熟して、収穫を生み出すということです——マルコ 4:26。
 - d. キリストが王国を建て上げるのは、命の種としてのご自身を、信じる人々の中にまき、王国を成長させることによってです。これは完全に命の成長の事柄であって、わたしたちの働きの事柄ではありません——Ⅰペテロ 1:23. Ⅰヨハネ 3:9. マタイ 13:8.
 - e. 王国の種はイエスであり、信者たち全体の中の種の発展が王国です。この全体は召会です——ローマ 14:17.
 2. 神の王国とは實際上、神・人、主イエスが種として信者たちの中にまかれて、一つの領域に発展し、神が神聖な命の中で、彼の王国として支配することができるものです——ルカ 17:20-21. マルコ 4:3, 26-29.
 3. 主イエスは三一の神の具体化であり、来て神の王国となりました。それは、ご自身を王国の種として、神の選びの民の中にまくことによってです——コロサイ 2:9. ルカ 17:20-21. マタイ 13:3-23 :
 - a. 神の命は、キリストご自身であり、神聖な命の領域の種であって、発展して彼の支配のための王国となります——マルコ 4:3, 26-29節.
 - b. わたしたちの中に種としてまかれた方は、王国の遺伝子です。この王国の遺伝子の完全な

発展は、新天新地における神の永遠の王国となります—啓 21:1-2。

4. この種は信者たちの中にまかれた後、彼らの内側で神の王国へと成長し発展します。神の王国は、神の永遠の定められた御旨を完成するためであり、祝福と享受のためです—コロサイ 1:13。
- B. わたしたちは、神聖な命と神聖な性質の発展を経験する必要があります。それは神聖な種の中に含まれており、その種はわたしたちの中にすでにまかれており、わたしたちをして永遠の王国へと豊かに入らせます—Ⅱペテロ 1:1, 4-11 :
1. 王国がわたしたちの内側で発展することは、わたしたちが神の王国の中に入ることです—5-11 節。
 2. わたしたちは、すばらしい、同じ尊い信仰をすでに割り当てられました。この信仰はすべてを含む種です—1 節 :
 - a. すべての神聖な豊富はこの種の中にありますが、わたしたちは勤勉になってそれを発展させなければなりません。成長して円熟することは、わたしたちがすでに持っているものを発展させることです—1-8 節. 3:18。
 - b. Ⅱペテロ 1:5-7 におけるこれらの美德を発展させることによって、わたしたちは命において成長し、最後には円熟に達し、キリストに満ち、資格づけられ、装備されて、来たるべき王国で王となります—エペソ 4:13-15. コロサイ 2:19. Ⅱペテロ 1:11。
 - c. わたしたちは完全な発展と円熟を持つ必要があります。それは信仰の種から、美德と知識の根、自制の幹、忍耐と敬虔の枝を通して、兄弟愛と愛の開花そして実に至ります—5-7 節。
 3. わたしたちの内側にある神聖な性質の究極の発展は、愛、すなわちアガペーです。このギリシャ語の言葉は、新約で、神聖な愛、すなわち、神が彼の性質において何であるかに対して用いられています—Ⅱペテロ 1:7 後半. I ヨハネ 4:8, 16。
 4. わたしたちは勤勉になって、神聖な種、王国の種の中の神聖な命と神聖な性質の成長と発展を追い求め、永遠の王国へと豊かに入るべきです—Ⅱペテロ 1:10-11 :
 - a. わたしたちが命の種に含まれる神聖な命と神聖な性質の発展において経験し享受する満ちあふれる供給は (3-7 節) 、わたしたちをあふれるばかりに供給して、わたしたちの主の永遠の王国へと豊かに入らせます—11 節。
 - b. 一見して、わたしたちが神の王国の中に入ります。実は、わたしたちが命の中で成長し、内側の王国の種を成長させ発展させることを通して、豊かに供給されて、永遠の王国へと入るのです—マルコ 4:26-29。